

〈感覚の点P〉展

IMAMURA Ryosuke × MITSUSHIMA Takayuki

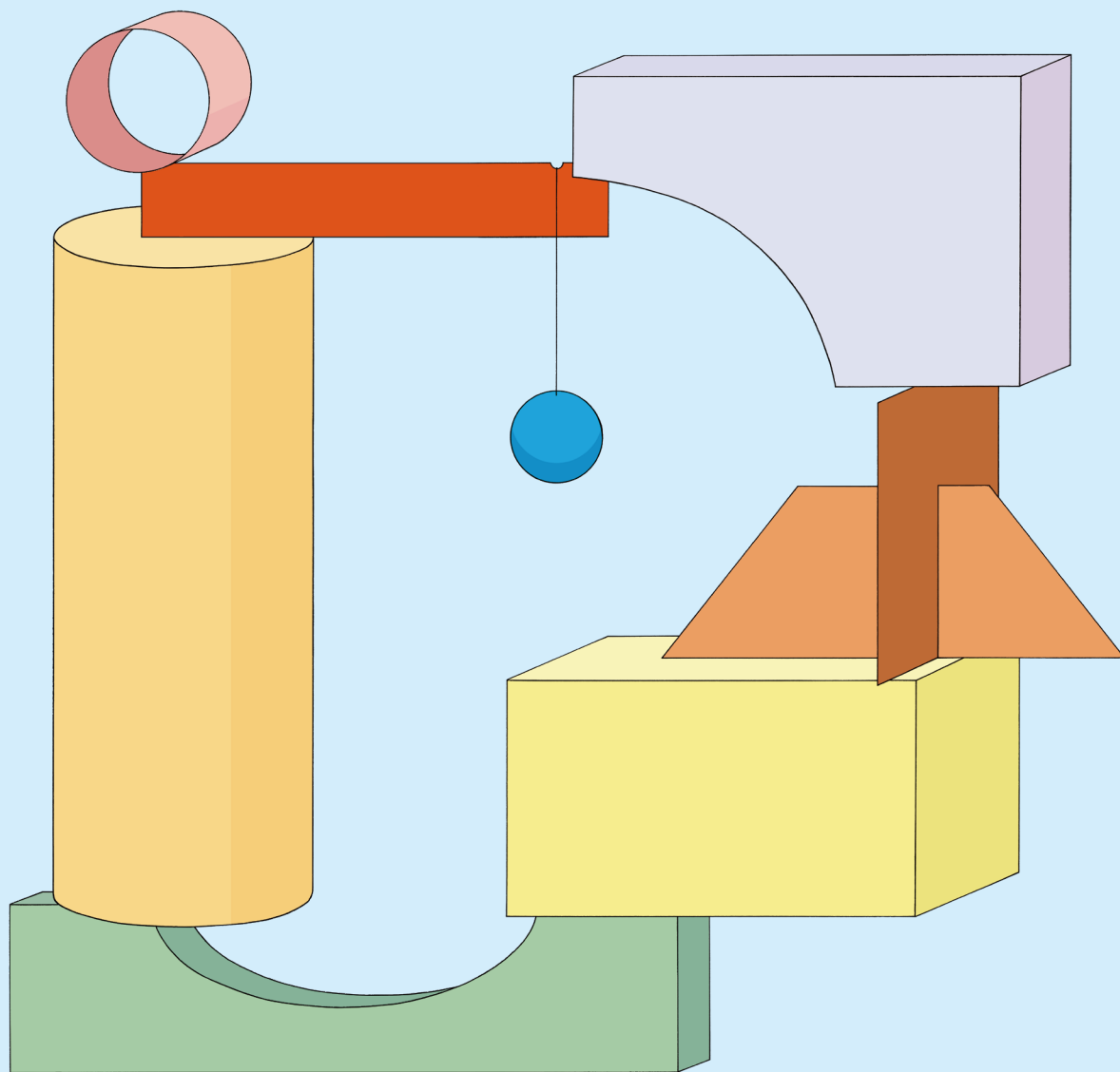
Research Project on the Senses: Any Point "P" in the Domain of Sensations

15 February (Sat) – 11 May (Sun) 2025

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

今村遼佑 × 光島貴之 — 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト

2025年2月15日(土) — 5月11日(日) 東京都渋谷公園通りギャラリー



開館時間：11:00–19:00 休館日：月曜日（2月24日、5月5日は開館）、2月25日、5月7日

Open: 11:00 am – 7:00 pm Closed: Mondays (Except 24 February, 5 May), 25 February, 7 May

主催：東京都渋谷公園通りギャラリー（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

企画：アトリエみつしま、今村遼佑、東京都渋谷公園通りギャラリー

Organized by Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery, Museum of Contemporary Art Tokyo, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
Planned by Atelier MITSUSHIMA, IMAMURA Ryosuke, Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

入場無料 Free Admission



今村遼佑×光島貴之——感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト 〈感覚の点P〉展

美術作家・今村遼佑と全盲の美術作家・光島貴之による、作品展示と感覚をめぐるリサーチの記録を報告する展覧会を開催します。世代も制作スタイルも異なる二人は、2022年頃より対話をはじめ、共通の体験を糸口に個々の美術作家としての感覚の違いに注目して、そこから生まれる新たな表現を探ってきました。本展では、3つの展示室に広がる今村のインスタレーション作品や、手でふれることのできる光島のレリーフ状の作品など、鑑賞者が直感的に楽しむことのできる展示の他、二人が共同制作した作品《触覚のテーブル》を用いたワークショップなど、ゲストを招いた参加型のプログラムを行います。わたしたちは、外的な刺激をうけて自身の内側の変化を感じることを、すなわち「感覚」を通して、他者の感じている世界にふれることができます。本展では、ひとりひとり異なる感覚を、数学の問題に用いられる「任意の点P」になぞらえ、わたしの／誰かの〈感覚の点P〉を通して、多様な世界の在り方にふれてみたいと思います。



上段左：〈感覚の点P〉展 プレイベント会場風景 上段中：《触覚のテーブル》ワークショップ風景 上段右：リサーチの様子 下段左：今村遼佑《プリペアド・トイピアノ》2023年 下段右：光島貴之《さやかに色点字—中原中也の詩集より》2023-2024年 ※上段左・中：「今村遼佑×光島貴之〈感覚の点P〉展 プレイベント」東京都渋谷公園通りギャラリー、2024年より 撮影：前谷開／下段：展覧会「今村遼佑×光島貴之〈感覚の果て〉」アトリエみつしまSawa-Tadori、2023年より 撮影：片山達貴

出展作家 Artists

今村遼佑 IMAMURA Ryosuke

1982年京都府生まれ。インスタレーション、映像、絵画、テキストなど多様な手法で、生活の中のささやかな出来事を取り上げ、見る人の記憶や感覚に働きかける表現を行っている。2018年より携わるプロジェクト「アートと障害のアーカイブ・京都」（きょうと障害者文化芸術推進機構）を通して光島と出会う。2023-2024年「味／処」展 神奈川県民ホールギャラリー（神奈川県）他、多数の展覧歴と、複数の在外経験がある。

光島貴之 MITSUSHIMA Takayuki

1954年京都府生まれ。10歳の頃に失明し、鍼灸を生業としながら、テープやカットニングシートを用いた「さわる絵画」の他、「触覚コラージュ」*、「釘シリーズ」など独自の方法で、自身の身体感覚を投影した新たな表現手法を探索。2020年、バリアへの新しいアプローチを実践する拠点として「アトリエみつしま」を開業。2019年「MOTサテライト 2019 ひろがる地図」東京都現代美術館（東京都）他、多数の展覧歴がある。

*鑑賞者は、多様な手ざわりを組み合わせた素材にふれることで、光島の感じた世界をたどる。

関連イベント

《触覚のテーブル》ワークショップ、《プリペアド・トイピアノ》演奏会（出演：野村誠）、トークイベント、鑑賞会（ナビゲーター：白鳥建二）などを予定。詳細はウェブサイトにて随時公開。

